

# 幕末・維新 洛南農村の暮らし

## 長谷川軍記日記より

The end of Edo period & the Meiji Restoration: Life in Rakunan Village  
From the Diary of Gunki Hasegawa



2018年9月1日～12月2日 (11月23日(金・祝)は休館 (土・日・祝開館))

1st September – 2nd December 2018 (open on Saturdays and Sundays)

開館時間：毎週土曜日・日曜の午前10時～午後4時  
入館料：大人800円、高校生500円、小・中学生 無料  
団体(20名以上)1割引き  
障害者 無料(障害者手帳を提示願います)

主催：長谷川 歴史・文化・交流の家 共催：NPO法人古材文化の会  
後援：農林水産省近畿農政局、京都府、京都府教育委員会、京都市、  
京都市南区陶化学区自治連合会、(公財)京都市景観・まちづくり  
センター、(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、朝日新聞  
京都総局、毎日新聞京都支局、京都新聞、京都リビング新聞、NHK  
京都放送局、NHK文化センター京都支社

この取組は、南区役所の  
平成30年度「みなみ力で頑張る！区民応援事業」  
による補助金を活用しています。

国の登録有形文化財・京都市「市民が残したい建物」に認定  
長谷川 歴史・文化・交流の家  
Hasegawa House of History, Culture, and Exchange

# 幕末・維新 洛南農村のくらし——長谷川軍記日記より

The end of Edo period & the Meiji Restoration: Life in Rakunan Village – From the Diary of Gunki Hasegawa

山城国紀伊郡東九条村は、JR京都駅から南に広がっていた農村で、平安時代より九条家の荘園でした。その地にある長谷川家は、江戸期には庭田家の家来(郷士)でした。郷士とは、武士としての格式が認められていた百姓という身分のことです。享保期にはこの地域の庄屋を務めていました。

現在国の登録有形文化財に指定されている長谷川家住宅は、今から約280年前(寛保2(1742)年8月)、初代半助によって築造された農家住宅で、江戸期を通じて収集・保存されてきた書籍、文書、地図等が多数残されています。その中に、第9代当主長谷川軍記(1822～71)が記した日記(弘化2年～明

治4年)が27冊残っています。これが「長谷川軍記日記」です。日記には領主や公家とのつきあいや交渉、村の中での事件処理など、いろいろな事柄が書かれています。近代の日記とは違い、書いた人の心の中はいつさい書かれておらず、その意味では公人としての日記だと言ってよいでしょう。この日記を素材として、洛南農村のくらしを知る手掛かりにすることが本展の開催趣旨です。

本展では、日記に書かれた19世紀の京都近郊農村の、①激変・激動する社会状況、②人々のくらしぶりの変化を紹介し、あわせて長谷川家に残されている文書、地図、書籍等を展示します。



## 長谷川軍記日記

幕末の当主長谷川軍記の日記のうち、嘉永4年(1851)分の冒頭。正月を雑煮で祝う長谷川家の姿が記されています。

## The Diary of Gunki Hasegawa

In the Diary of Gunki Hasegawa written by the head of the Hasegawa family at the end of Edo period, the opening part of the record of 1851 describes the Hasegawa family celebrating the New Year by a traditional soup containing rice cakes called zouni.



## 下京大火かわら版

安政5年(1858)6月4日に起きた下京の大火をしらせるかわら版。この火災で東本願寺が焼失し、門主が東九条村の九条家別邸に避難したことが軍記日記に見えます。

## The Shimogyo Great Fire news-sheet

News-sheet to report the Shimogyo Great Fire on the 4th June 1858. The Gunki Diary shows that Higashi-Honganji temple was burnt down by the Great Fire, and that the head priest escaped to the Kujo Family Villa in Higashi-kujo village.

## 講演会のお知らせ

伊東宗裕先生(本展監修)と田中和久先生(農業白堂)による講演会を開催します。聴講料は無料ですが、入館料が必要です。いずれも14時から開催。

- 9月9日(日) 伊東宗裕先生「東九条村と軍記日記」
- 10月14日(日) 伊東宗裕先生「軍記さんの日常と生活」
- 10月20日(土) 田中和久先生「洛南の農業・農村と暮らし」
- 11月11日(日) 伊東宗裕先生「蛤御門の変と東九条村」



## 第10代当主長谷川清之進が描いた「会津藩軍勢図」

Illustrated handscroll of Aizu military troops "Aizu gunsei emaki" painted by 10th head of Hasegawa family, Seinoshin Hasegawa.

## 【交通案内】



### ■バスをご利用の場合

京都駅(烏丸口)から市バス81番(中書島行)で「札ノ辻」下車、徒歩3分(竹田街道札ノ辻一筋下り、点滅信号左折突き当たり)

### ■地下鉄をご利用の場合

烏丸線「十条駅」下車1番出口、徒歩7分(十条通りを右へ、竹田街道を左折点滅信号を右へ突き当たり)

### ■京都駅からタクシーおよび徒歩の場合

京都駅(八条口)から竹田街道札ノ辻一筋下り、点滅信号左折突き当たり(約ワンメーター)、徒歩の場合は約15分

### ■京阪本線をご利用の場合

鳥羽街道駅から西へ陶化橋を渡って河原町通を北へファミリーマートの角を左折

### ■車をご利用の場合

河原町通り「交流の家」東門に駐車場有り。事前に連絡いただければ、ご案内します。

## 【監修者紹介】

伊東宗裕(いとむねひろ)

1951年福岡県生まれ。立命館大学大学院修士課程修了。京都府歴史資料館に勤務し2016年退職。佛教大学・立命館大学の非常勤講師。NHK文化センターカルチャー(京都・神戸両教室)で古地図を中心に講演中。

## 【お問い合わせ】

**長谷川 歴史・文化・交流の家**  
Hasegawa House of History, Culture, and Exchange

〒601-8024 京都市南区東九条東札辻町5  
Tel & Fax 075-606-1956  
<http://hasegawa.okoshi-yasu.net/index.htm>